

## 平成27年度 事業報告書

平成27年4月1日 から 平成28年3月31日 まで

特定非営利活動法人若年認知症交流会小さな旅人たちの会

### I 事業実施の成果

若年性認知症の本人・家族が前向きに生活を送れるよう「交流の場づくり」、「リフレッシュするための旅行支援」を軸として活動した。平成26年に開始した新たな交流の場づくりである月2回のサロン活動を継続した。

また、地域の理解と支援の輪を広げるため、講演会の開催、広報誌の発行などの事業に取り組んだ。

#### 1. 軸となる交流活動

##### (1) 本人・家族が集い、交流する場の確保

###### ①月例交流会

日 時：毎月第2土曜日14時～17時（10月、3月は旅行会として実施）

実施場所：マイルドハート高円寺、中野区医師会館（1月）、帝京平成大学（2月）

対象者：若年性認知症の本人、家族等

内 容：日頃のことを気軽に話し合える交流会を基本コンセプトとし、前半は、参加者全員で一緒に楽しめるイベントやミニ講演会等の実施、後半は本人と家族の二手に分かれ、本人は運動や音楽、創作活動などを楽しむ時間、家族は専門職を交えた情報交換・相談の時間という内容で構成

実 績：参加者は本人・家族、支援者含めて各回30数人。平成27年度、通算10回実施。延参加人数358人 平均各回参加人数35.8人。平成27年度に新たに参加し会員となった本人・家族4組（平成28年3月まで）

###### ②ちいたびサロン

日 時：毎月第1, 第3土曜日11時～15時

実施場所：ちいたび会事務所

対象者：若年性認知症の本人、家族等

内 容：身近な地域で気軽に立ち寄り継続して通える場として、交流会に加えて継続した。気軽にお茶を飲み集える場というコンセプトで、家族参加者は情報交換をしながらビーズ細工のアクセサリーづくりや交流会の準備作業等に取り組んだ。本人参加者は、買い出しや家族の作業の手伝いなど、また社会との接点づくりの一環として「街中クリーン作戦」（吸い殻拾い）に新たに取り組んだ。

実 績：平成27年4月4日から平成28年3月19日までに通算21回実施  
延参加人数146人 平均各回参加人数 6.9名

##### (2) リフレッシュするための旅行支援

本人・家族が非日常の時間を楽しみ、気持ちをリフレッシュするための機会として、会員を対象とする旅行会を開催した。

## ①定期旅行会

秋に泊りがけの旅行会と春に日帰りにそれぞれ年一回出かける。(日帰りであれば参加できるという声もあるため宿泊と日帰りを組み合わせている。)

実績：

### ・泊りがけ

10月10日、11日に埼玉県秩父市に出かけた。ピザづくりに挑戦。砂場の体育館でグランドゴルフ、ドッジビー、ビッグボールパスなどに興じた。秩父吉田の龍勢まつりでは、飲んだり食べたりしゃべったりしながらゆっくり龍勢(手作りロケット)打ち上げを見物した。温泉、懇親会、バス車内での歌合戦などみんなで楽しんだ。20名参加

### ・日帰り

3月12日、千葉へいちご狩り、動物園見学に出かけた。いちご狩りは好評につき3年目の実施。今回は「紅ほっぺ」。みんなたくさん食べた。また「市原ぞうの国」では、いろいろな動物と触れ合えたが何と言っても圧巻は11頭の象のショーであった。バス車内では「しりとり」、カラオケなど楽しんだ。23名参加

## ②はみ出し企画

会員発案による随時の旅行機会づくりを行った。

実績：

はみ出し企画その1～3、おためし旅行第3回

はみ出し企画＝田植えin佐野、バーベキューin軍畑、稲刈りin佐野

おためし旅行＝「自炊と温泉でまったり」in山梨県塩山温泉

## 2. 地域の理解と支援の輪を広げるための活動

### (1) 講演会の開催

若年性認知症に係わる当事者と周囲の人たちが、若年性認知症を正しく理解し、ともに考えてもらうための時間を創出するための機会として講演会を企画した。

平成27年度の講演会では、若年性認知症の疾患理解と課題を基調講演のメインテーマとして、また地域でどう支えるかをシンポジウムのテーマとして設定した。

### ○若年性認知症の理解と支援の輪づくり講演会2015 102名参加

於中野コンgresクエア

第一部：基調講演「若年性認知症の理解と課題」

演者：齋藤正彦医師(東京都病院経営本部松沢病院院長)

第二部：シンポジウム「若年性認知症を地域でどう支えるか」

座長：高橋正彦(クリニック医庵たまプラーザ院長)

パネラー：芦刈伊世子医師

(地域連携型認知症疾患医療センターあしかりクリニック院長)

齋藤正彦医師

三井将史(練馬若年認知症サポートセンター施設長)

堂迫廣二(家族)

### (2) 上映会・講演会の開催

区内で活動する家族会・交流会に関係する団体が、つながりをもって地域に向き合うことで、活動に対する理解を広め、自分だけで悩みを抱え込んでいる人を一人でも減らすことはできないかとの考えから、区内の認知症家族会等に声掛けし、「認知症みんなで考える中野ネットワーク」を設立。設立記念の上映会・講演会を開催した。

- 認知症をみんなで考える上映会、講演会 於中野ゼロ小ホール 480名参加  
第一部：上映会「妻の病」伊勢真一監督作品  
第二部：講演会「若年性認知症の妻と共に」石本浩市医師（聞き手：理事長）

### (3) 会報誌の発行

活動の様子や関連情報を伝えるとともに地域の理解の輪を拡げるため会報誌「ちーたー」を定期発行した。

発行頻度：毎月の月末に発行（計12号発行 通算30号）

主な内容：経過報告（交流会の様子、その他活動報告）や今後予定等、また東洋大学生や会員の寄稿を掲載。フルカラー写真を多用し目が行くように印象に残るように工夫している。

配布先等：会員70、関連機関等130（公的相談機関、医師会、他家族会等）また、インターネット媒体を活用した情報発信（HP、Facebook等）をあわせて実施した。

### (4) その他の取り組み

地域理解を促進し、認知症になっても普通に暮らせる地域づくりを実現するため、以下の観点に立ち、取り組みを進めた。主な取り組みは以下のとおり。

#### 〈観点1〉地域の理解促進

ちいたび会事務所前に設置した掲示板による広報（本会及び他家族会の活動案内）、講演会・セミナーでの講演講師（杉並区地域包括支援センター合同主催の地域ボランティア向け研修会、中野区介護事業所連絡会訪問介護部会）、中野区主催NPOパネル展への出展

#### 〈観点2〉連携した地域づくり

地域で活動する他家族会との連携づくりのため「認知症みんなで考える中野ネットワーク」を立ち上げた。

#### 〈観点3〉行政、関係機関との協働

中野区長への訪問（活動状況の報告と要望書の提出）、地域包括支援センターとの連携、「地域ケア会議」への出席など

#### 〈観点4〉次につながる活動づくり

学生（東洋大学）の会活動への参加、講演会開催のPR協力（杉並区区報、中野法人会、中野区医師会、中野区社会福祉協議会）、地域ミニコミ誌「おこのみっくす」掲載など

## Ⅱ 事業の実施に関する事項（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び実施人数	支出額 (執行率)
若年認知症家族交流会事業  予算¥1,916,100 ↓↓↓ 支出¥2,084,315 (108.8%)	本人、家族を対象とした交流会等を定期開催する。あわせて定期旅行会を実施する。					
	1) 本人・家族交流会 (予算：¥436,000)	4月～3月 毎月1回 (10月、3月を除く)	マイルドハート高円寺他	10回 各回 10人	若年性認知症の本人・家族 358人	¥543,136 (124.6%)
	2) 手作業サロン事業 (予算：¥608,000)	4月～3月 毎月2回	ちいたび会事務所	21回 各回3人	本人・家族 146人	¥697,392 (114.7%)
	3) リフレッシュ旅行会 (予算：¥623,000)	10月 一泊二日	埼玉県秩父市	15人	本人・家族 20人	¥630,819 (101.3%)
		3月 日帰り	千葉県君津市	15人	本人・家族 23人	
4) 会報誌の発行 (予算：¥294,000)	毎月発行	—	2人	関係機関及び会員 各号200通	¥230,495 (78.1%)	
若年認知症に係る理解促進事業 予算：¥599,000	講演会や相談会を開催する。	11月 12月	中野コングレスクエア 中野ゼロ小ホール	20人	一般市民、関係機関 582人	¥956,040 (159.6%)
介護、旅行に係る人材育成事業 (予算：¥0)	介護サポーター活動などを通じ学生等の人材育成を行う。	7月～3月の毎月（交流会、旅行会にて）	マイルドハート高円寺他	4人 (理事)	大学生 各回4人	¥0
旅行を通じた心の余裕づくり事業 (予算：¥0)	本人・家族のニーズに応える旅行を随時企画する。また、家族、他団体等の旅行支援を行う。	—	—	—	—	実施見送り
IT活用支援事業 (予算：¥0)	パソコン、インターネット等を活用するための環境整備、サポートを行う。	—	—	—	—	実施見送り

※交流会、サロン事業、旅行会等の執行率（予算対支出額比）が100%を超えているが、当初予算積算時の想定実施人数に対して実数が多かったことによる。

理解促進事業については、おもにポスター掲示板貼付委託、印刷用消耗品の購入、講師謝礼の支出額が予算積算時の想定より増加したことによる。

### (2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額
損害保険の代理業務 (予算：¥0)	旅行の実施に伴い旅行傷害保険等を取扱う。	—	—	—	実施見送り
広告事業 (予算：¥0)	ホームページ、パンフレット等に有料広告を掲載する。	—	—	—	実施見送り
物販事業 (予算：¥0)	若年認知症家族を支援するために寄付された物品等を販売する。	—	—	—	実施見送り